

AUNさん、こんばんは！お忙しいところLINEを送ってしまい、誠に申し訳ございません。33才、三人の子持ちの野口といいます。

今回LINEを送らせてもらった理由なのですが、ICBの参加についてのAUNさんの意見を聞きたくて送らせてもらいました。もしこれから送るメッセージで、AUNさんに少しでも不快な思いをさせてしまったら誠に申し訳ございません。

お恥ずかしい話なのですが、僕は極度のあがり症で、人前でスピーチをするのにとってもあがってしまいます。(声が震えてしまうレベルです。)

今まで大勢の前で話した経験があまりないと言ってしまうかもしれませんが、普通に少人数で話したり、会話をするぶんには大丈夫です。会社でも朝礼とかをやる機会があるのですが、やはり緊張して震えてしまうことがあります。

あと、コミュニケーション能力も得意というわけではありません。AUNさんみたいな誰をも魅了するコミュニケーション能力にいつも憧れているのですが、憧れるだけでは現実には変わらないのはよくわかっています。

これまでコミュニケーションの教材や、AUNさんの『ひとたらし』の教材も買ってはみたものの、前の自分よりかは少し改善されたぐらいで、劇的な変化には遠く及んでおりません。(ただそこで教材も買わず、何も行動を起こさなかった自分より、とりあえずは教材買って勉強をした自分を誉めてあげたいと思います)

今回のICBに関するすべての音声やレターも見せていただきました。

それで、AUNさんのパートナーのジュンさんやショウさんの、『昔は凡人でスペックも低かった』みたいな感じのニュアンスで書いていたのがすごく印象的で、自分も極度のあがり症で、コミュニケーション能力も高くない(下手したら平均以下かもしれない)、こんなスペックでICBに取り組んでも結果が出るのかなと、現在悩んでおります。

セミナーやコンサルなど、あがり症の自分にとってはものすごくハードルが高いと思ってます。金銭面でも30万は今の自分にとっては大金ですが、もし今の自分でも少しだけでも可能性が残されているのなら、取り組みたいと思っております。

あと毎日の作業時間なのですが、2時間ぐらいなら確保できると考えております。(子供たちを寝かせてから取り組



みます)AUNさんの視点から見て、今の僕ではICBは厳しいと思いますか？

『あがり症を克服してコミュニケーションを磨いてから出直してこい』って言われれば今回のICBはきっぱりと諦めて、自分を鍛え直してきます。

AUNさんやジュンさんやショウさんのように、努力をしてコンプレックスなどを克服してICBに取り組んでおられるので、まだコンプレックスを克服できていない現状の自分ではICBはできないんじゃないか、やはりコンプレックスを多少なりとも克服してからではないとICBは厳しいんですかね？

AUNさんの簡単な意見を聞けたらうれしいです。

ものすごく長文になってしまい、本当に申し訳ございませんでした。貴重な時間、最後まで読んでくれてありがとうございました。



こんな相談が。  
どうだろう。  
二人なら何て答えるかな。

祥さん

参入する場所も決まっています、克服すべき課題もある

やる気さえあればこういう人ほどやるべきだし、たぶんやっていく過程であがり症とか治っていきますよね

って感じのことを優しくめにいいます

うんうん

祥さん

オマケに扱う商品もプロファイリングがありますし

むしろリードしてる気がしますね、他の人より

だな 笑

まじで

祥さん

同じこと考えてる人  
まだ居そうですね

これは明日流すべきだな

明日流すべきことたくさんあるんだけど苦笑

純一さん

克服する事が明確にあるってのはいいですね。

あがり症なんかまさに売れる分野。

少しずつそれを克服する過程はまさに質の高いコンテンツの山のように生まれる。

こういう人ほどやるべき。

出来ない人の気持ちが分かるから。

みんな最初は初心者で何にもできなかったわけだし。

、、、みたいなこと言いますかね。

祥さん

なんか色々な意味でICBやる側としてマッチしてますよねー





純一さん

「あがり症を克服してコミュニケーションを磨いてから出直してこい」  
ってAUNさんが言われるのなら、

↑これは逆ですね。

ICBやった方が克服できる。  
ICBやりながら克服した方がいい。

祥さん

ですね、

このことを知らずに裏でフェードアウトしそうな人が何人もいそうです

純一さん

だよな、

俺も、全面的に同じ意見だよ

ということで、この会話をスクショなどして、読者さんにシェアしようか

笑

祥さん

全面的に賛成です

笑

純一さん

能力が足りない⇒チャレンジできない

ではなくて、、、

って事を伝えてあげないとですね。

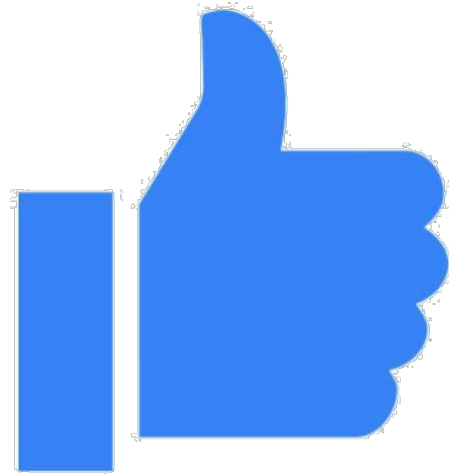


純一さん

笑



了解です



# “補足”

ICB で飯を食っていくためには、自分自身がコンテンツホルダーになっていく必要があります。これから「なっていく」必要があるのであって、既に「なっている」必要があるわけではありません。

なっていくために必要なのは、

- ・ 興味・関心がある分野であること

(悩みや痛み、フラストレーションなども含めて)

- ・ そこに情熱を注げること

(途中で投げ出さない、探求・追及し続けられる情熱)

- ・ コンテンツホルダーになるためのステージに立つこと

(ビジネスと教育の両視点でもってコンテンツを作る、というコミットと環境)

これらの条件が揃っていれば、常人の何倍、何十倍の速度でその道のエキスパートになることができます。

興味関心があって、そこに情熱を注げるというのは大前提になりますが、そこに、「他人に提供する」「他人に行動を起こさせ結果を出させる」という視点が加わることで、ステージの次元が変わるわけです。

普通の人には、興味関心情熱があっても、誰かのためにコンテンツを作るという概念がありません。対価としてお金をもらうという概念もありません。だから、その分野に詳しくはなれても、エキスパートにはなれないわけです。



我々は違うということです。

「コンテンツホルダーになる」と決めて、そのための環境に入るからこそ、教育者目線を持った、読者に求められるエキスパートに数段飛ばしで近づくことができる  
のです。

それでも、少しだけ自分を立派に見せる演出など、いわば「背伸び」が要求される場面もありますが、だからこそ、さらに成長も加速するというものです。

今はたとえ中途半端でも、ゼロでも、まったく問題ありません。

興味・関心のある分野と情熱、そして、「コンテンツホルダーになって、稼ぐ」という意識と環境さえあれば、ICBでの成功は手の届くところに見えてきます。

**【Underground ICB Inner Circle】**

**THE MIXTURE**

[>>>お申込みはこちら<<<](#)